



2021年1月14日

各 位

大阪国際石油精製株式会社における新型コロナウイルス感染者の発生について

当社（社長：大田 勝幸）グループ会社である大阪国際石油精製株式会社（社長：竹下 嘉昭）の千葉製油所（所長：杉本 高弘、千葉県市原市）に勤務する協力会社社員2名に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出たことを確認いたしました。

当該協力会社社員のうち1名は、1月6日（水）に症状を発し、1月10日（日）にPCR検査を受け、同日陽性と判明しました。1月5日（火）の勤務以降は出社しておらず、現在は保健所の指示に基づき自宅待機しております。なお、当該関係会社社員との濃厚接触者は確認されておられません。

もう1名は、1月7日（木）に症状を発し、同日PCR検査を受け、1月9日（土）に陽性と判明しました。1月6日（水）の勤務以降は出社しておらず、現在は保健所の指示に基づき自宅待機しております。なお、当該関係会社社員との濃厚接触者は確認されておられません。

感染者の確認を受け、当該協力会社社員の行動範囲の消毒、除菌を実施いたしました。

同所では、既に、構内で働くすべての従業員および関係会社の皆様に感染予防策を実施しており、可能な限り人と人との接触を抑制することにより、安定供給を維持する体制をとっており、この度の感染者発生による生産体制への影響はありません。

引き続き、社内従業員および協力会社社員の健康観察を進めるなど、感染拡大防止に向け適切に対応いたします。

地域住民および関係者の皆様にご心配をおかけすることを心よりお詫び申し上げます。今後も当社は、従業員および取引先様の安全確保および安定的な操業継続に向けた感染拡大防止対策を迅速に実施してまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上